

平成24年6月5日
独立行政法人農畜産業振興機構

肉用牛肥育経営安定特別対策事業（新マルキン事業）の
平成24年4月分の肥育牛補填金単価について

当機構では、牛肉・稲わらからの暫定規制値等を超えるセシウム検出に関する緊急対応策のうち肥育経営の支援対策（特例措置）として、肉用牛肥育経営安定特別対策事業の平成23年度第2四半期以降の補填金について、月毎に支払う方式としています。

平成24年4月に販売された交付対象の契約肥育牛に適用する肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱第5の6の（10）のアの（ア）の肥育牛補填金の単価については、下記のとおりです。

記

肉専用種	交雑種	乳用種
7,600円	91,900円	108,300円

注：補填金交付額に見合う財源が不足する場合、上記補填金単価を減額することがあります。

- 肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱（抜粋）
第5の6の（10）のアの（イ）
県団体は、肥育安定基金の全額を取り崩してもなお支払うべき肥育牛補填金の額に不足が生じる場合は、理事長の承認を受けて、補填金単価を減額することができるものとする。

連絡先

畜産経営対策部 肉用牛肥育経営課
担当：坂西、石原
電話：03-3583-8562

(参考1)

肥育牛補填金の単価の算定について

【平成24年4月】

単位：円／頭

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種
平均粗収益 (A)	817,586	499,625	246,376
平均生産費 (B)	827,205	614,549	381,855
差額 (C)=(A)-(B)	△ 9,619	△ 114,924	△ 135,479
補填金単価 (C) × 0.8	7,600	91,900	108,300

注：100円未満切り捨て

(参考2)

平均粗収益等の算定基礎

【平成24年4月】

(単位:円/頭)

区 分	平均粗収益及び平均生産費		
	肉専用種	交 雑 種	乳 用 種
平均粗収益 (A) = ① + ②	817,586	499,625	246,376
副産物価格 ①	10,949	7,145	5,454
主産物価格 ② = a × b	806,637	492,480	240,922
平均枝肉価格(円/kg) a	1,677	1,026	517
平均枝肉重量(kg) b	481	480	466
生産費総額 ③	839,321	628,330	389,343
もと畜費	385,849	242,602	95,932
飼料費	281,870	274,803	218,667
うち流通飼料	279,056	273,878	217,265
うち牧草放牧	2,814	925	1,402
敷料費	13,500	8,877	8,284
光熱水料及び動力費	10,701	8,105	6,654
その他の諸材料費	366	462	547
獣医師料及び医薬品費	8,148	5,107	3,162
賃貸料及び料金	4,294	1,742	2,756
物件税及び公課諸負担	5,331	2,631	2,107
建物費	14,350	13,905	9,088
自動車費及び農機具費	15,509	10,006	7,314
生産管理費	1,774	912	473
飼養労働費	74,130	41,759	25,034
うち家族労働費	69,275	38,270	22,565
費用合計	815,822	610,911	380,018
支払利子	10,970	3,427	1,749
支払地代	413	211	88
自己資本利子 ④	9,686	12,365	6,245
自作地地代 ⑤	2,430	1,416	1,243
平均生産費 (B) = ③ - ④ - ⑤	827,205	614,549	381,855
差額 (C) = (A) - (B)	△ 9,619	△ 114,924	△ 135,479

注:主産物価格は、肉専用種については28市場及び相対取引等の平均、交雑種、乳用種については、28市場の平均である。

(参考3)

肉専用種の主産物価格の内訳

【平成24年4月】

	平均枝肉価格 (円/kg)	平均枝肉重量 (kg/頭)
28 市 場	1,676	486
相対取引等	1,677	473
計	1,677	481

注1：28市場とは、中央卸売市場10市場と指定市場18市場での取引である。

注2：相対取引等とは、北海道、岩手県、秋田県、山形県、岐阜県、滋賀県、山口県、香川県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県における食肉センター等での取引である。

なお、熊本県、宮崎県及び鹿児島県での取引については、以下により公表されている。

- (公社) 熊本県畜産協会
- (公社) 宮崎県畜産協会
- (社) 鹿児島県畜産協会